



横浜の京浜臨海部

京浜臨海部は、横浜港開港以来日本最大の貿易港として発展し、後には、重厚長大産業を中心とする世界有数の工業地帯として、日本の近代化と国際化を牽引してきました。

現在は、製造業・建設業・運輸業など多様な企業が集積するとともに、大学や公的機関の研究施設が立地しており、連携して研究開発や生産を行うことで、新たな技術・サービスを創出するポテンシャルを持った地域として発展しています。

京浜臨海部は、これからも、世界に誇る技術・サービスを発信する産業拠点として、時代とともに進化し続けていくことを目指します。

京浜臨海部の高度な産業集積



京浜臨海部再編整備マスタープラン

(2018年 改定)

世界の産業構造や経済情勢が大きく変化するなか、京浜臨海部が今後も世界をリードしていくためには、最先端の研究開発拠点や成長産業の集積、物流革新に対応した総合物流拠点の形成、明治からの歴史や高度なものづくり技術を活かした魅力ある空間などの実現を目指す必要があります。

そこで、国際競争力強化・魅力向上に向けた2つの柱「グローバル・イノベーション」と「インダストリアル・エンターテインメント」を推進し、併せて都市環境の整備や実施体制の構築を行うことで、20年後の将来像である「多様な人・モノ・地域をつなげ、新たな価値を創造・発信する産業空間」を実現すべく、マスタープランを改定しました。

20年後の将来像 多様な人・モノ・地域をつなげ、新たな価値を創造・発信する産業空間

京浜臨海部再編整備マスタープランの基本戦略

【戦略Ⅰ】国際競争力強化・魅力向上に向けた2つの柱

Global Innovation

「技術革新」により世界をリードする産業空間

- ①「世界最先端技術の創出拠点」の形成
- ②社会を支える「ものづくり技術の高度化」
- ③「新たな成長産業」の集積
- ④「オープンイノベーション」による新たな価値の創出
- ⑤国際競争を勝ち抜く「物流拠点」の形成

Industrial Entertainment

多くの人で賑わう魅力ある「産業観光」

- ①「産業観光」によるブランド力の向上
- ②横浜都心や海とつながる「賑わい形成」

支える

【戦略Ⅱ】都市環境の整備

- ①新たな魅力の創出に向けた都市空間の形成
- ②地域を支える交通環境の充実
- ③社会の持続可能性に貢献する環境システムの形成
- ④災害に強い産業空間の形成

【戦略Ⅲ】実施体制の構築

- ①立地企業による組織体制の構築
- ②行政と地域組織の連携
- ③地域の一体的発展に向けた行政間の連携



マスタープラン
の詳細はこちら

京浜臨海部活性化協議会

京浜臨海部（鶴見・神奈川区の産業道路又は国道15号より海側の工業専用地域及び工業地域の一部）の立地企業で構成する協議会であり、地域課題の解決等のための諸活動を通じて、立地企業間の交流を促進しています。

【協議会概要】

- 会員数：78社・団体
- 活動内容：講演会、総会、会員交流会、視察会 等

京浜臨海部活性化協議会の入会、お問い合わせ
 横浜市経済局企業誘致・立地課
 ☎ 045-671-3485